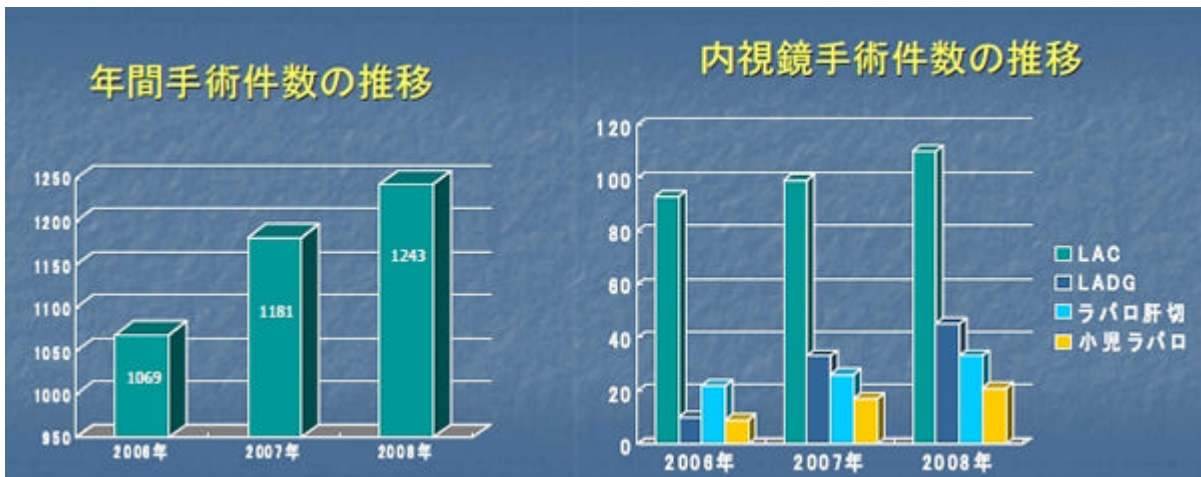


外科学講座の特徴

岩手医科大学外科学講座の特徴

- プログラムは肝・胆・膵・移植外科コース(日本肝胆膵外科学会高度技能医育成コース)、内視鏡外科専修医コース(日本内視鏡外科学会技術認定医育成コース)、小児外科専修医コース(日本小児外科学会専門医育成コース)の3プログラムを用意している。
- 上部消化管、下部消化管、肝胆膵・移植、乳腺甲状腺、内視鏡外科、小児外科の6チームを有する大講座で、年間手術件数1243件(2008年実績)。
- 各グループとも積極的に内視鏡手術を導入している。



- 厚生労働省より各種先進医療の指定を受けており、多数の手術見学者、短期留学者を受け入れている。

高度医療

腹腔鏡補助下肝切除術: 本学のみ

内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術: 本学含め6施設

先進医療

腹腔鏡下肝部分切除術: 本学含め10施設

スーパー特区

腹腔鏡補助下ドナー肝切除: 本学のみ

腹腔補助下肝切除見学

東京大学、京都大学、北海道大学、東北大学、自治医科大学、国立がんセンター中央病院、

Taiwan National Hospital、Asan Medical Center 等24施設から41名

腹腔鏡下大腸切除

東北大学、自治医科大学、島根大学、滋賀医科大学、国立がんセンター東病院 等18施設から22名

短期国内留学

京都大学より2週間、大阪市立総合医療センターより2か月